

令和 6 年度「かながわ水源地域活性化計画」 の取組状況について

神奈川県政策局政策部土地水資源対策課

現行計画（かながわ水源地域活性化計画）の概要

1. 計画期間 … **5年** 2021（令和3）年度～2025（令和7）年度

2. 目的

水源環境を含めた水源地域を取り巻く環境を良好な状態で維持していくこと

3. 目標値

- **水源地域への交流人口（水源地域への来訪者数）**

水源地域への交流人口を**2025（令和7）**年に**918万人**とする

（実績）

R 3	R 4	R 5
623万人	742.5万人	764.6万人

- **来訪者の満足度**

水源地域への来訪に好意的な回答（「満足」等）をした来訪者が

年度ごとに全体の80%となる

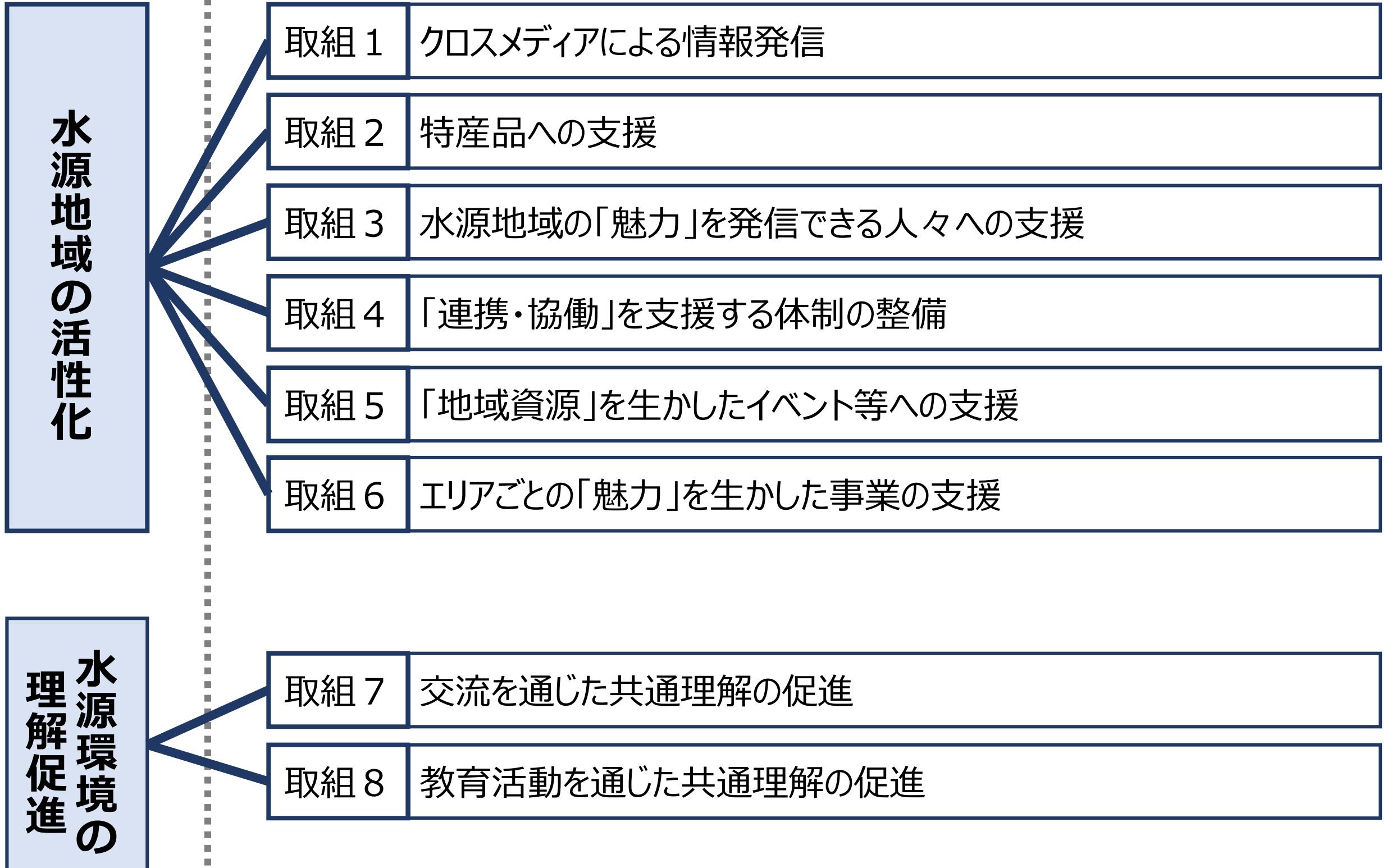
（実績【R7.1.1現在】）

R 3	R 4	R 5	R 6
96.0%	97.4%	95.4%	94.8%

現行計画（かながわ水源地域活性化計画） 体系図

施策の方向性

取組



取組ごとの成果

取組 1 クロスメディアによる情報発信

概要

クロスメディア（様々な媒体での情報発信の組み合わせ）の観点から、水源地域の魅力を発信

デジタルサイネージの活用

五湖をテーマにした水源地域の魅力を発信する動画を放映

- かながわ県民センター
- 厚木市、小田原市サイネージ
- 県内外パーキングエリア
- 神奈中バス



川崎競馬場での協賛レース

協賛レースを実施し、動画放映を行ったほか、広報ブースを設置



広報パンフレットの作成

ニーズ調査の結果を踏まえ、紙の広報媒体を好む高齢者向けの広報パンフレットを作成

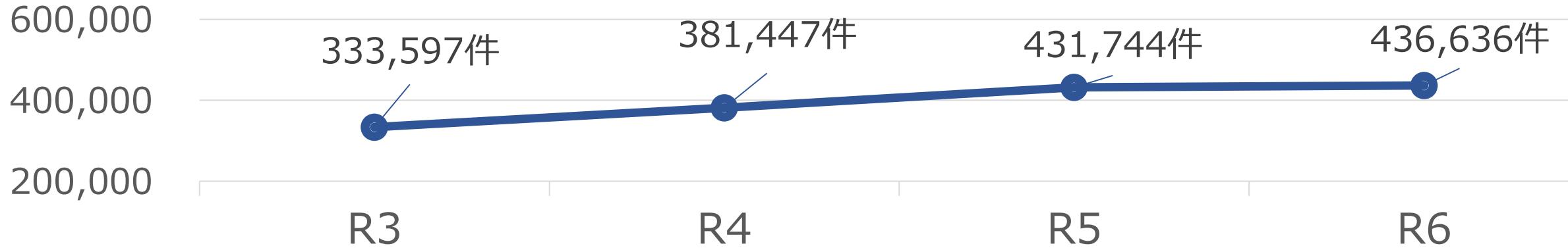


取組ごとの成果

取組1 クロスメディアによる情報発信

実績 (R7.1.1現在)

- ポータルサイト「神奈川やまなみ五湖navi」へのアクセス数



- X(旧Twitter)インプレッション数

期	R3	R4	R5	R6
インプレッション数	47,539件	62,841件	46,307件	49,667件

※ 令和6年7月以降の数字はXの仕様変更により、単純比較ができない。

評価

各種機会をとらえ、様々な媒体での情報発信を行うことができた。

取組ごとの成果

取組2 特産品への支援

概要

水源地域の素材や自然の恵みを生かした「**やまなみグッズ**」を通じた、水源地域の魅力発信

やまなみグッズの認定

令和7年1月現在、96品目がやまなみグッズとして認定



パイナップル葉茶

きゅうりの古漬



マンディアン

市町村ブランドとの連携

水源地域キャンペーンにて、やまなみグッズと共に、清川村の特産品販売を行った



各種イベントへの出店支援

各種イベントの機会をとらえ、やまなみグッズ事業者の出店を支援

- ・ SC相模原
- ・ 津久井やまびこまつり
- ・ 城山もみじまつり
- ・ あつぎ国際大道芸 等



SC相模原



城山もみじまつり

取組ごとの成果

取組2 特産品への支援

実績 (R7.1.1現在)

- 「やまなみグッズ」に対する認知度

… かながわ水源地域キャンペーン内で実施したアンケートより集計

	知っていた	イベントで初めて知った	知らなかった
R4 (n=140)	12.9%	65.7%	20.0%
R5 (n=451)	10.2%	58.3%	28.6%
R6 (n=282)	12.4%	54.6%	31.2%

※ R3は集計方法が異なるため除外

評価

やまなみグッズの周知のための取組みを行っているが、依然として認知度が低い。

取組ごとの成果

取組3 水源地域の「魅力」を発信できる人々への支援

概要

案内人への支援を行うことによる、案内人の活動を通じた水源地域の魅力発信

案内人会議の開催

活性化計画に基づく取組の進捗状況の報告や、案内人への支援策の内容等について、意見交換を行うため、会議を2月に開催



出前授業の実施

水源環境への理解促進及び案内人への支援のため、県内の小中学校等に対し、案内人を講師とした出前授業を実施



実績（R7.1.1現在）

- 案内人の登録者数
18者（個人14名、4団体）
- 連絡会議（案内人会議）の実施回数
3回（令和4年度以降、1年に1回実施）

評価

現状として、案内人の登録者数が徐々に増加している。

取組ごとの成果

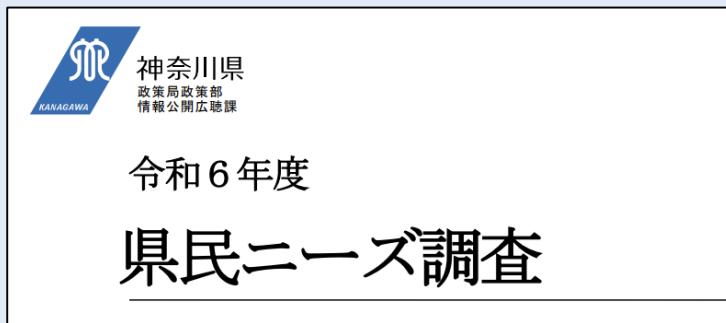
取組 4 「連携・協働」を支援する体制の整備

概要

水源地域における**水源地域住民**と**都市地域住民**の「**連携・協働**」を支援する体制の整備

水源地域に対する ニーズの調査

水源地域に関するニーズを調査するため、「県民ニーズ調査」を活用した調査を実施



体験ワークショップの実施

水源地域に興味を持つ人の発掘のため、横浜市と連携し、市主催イベントにて、水源地域PRブースを出展



連携・協働にむけた 仕組みづくり

観光部門との連携・協働の一環として、水源地域の観光資源に関する情報を県公式観光サイトで共有



実績 (R7.1.1現在)

- 「取組 5」、「取組 7」で把握する実績を参照

評価

都市地域住民に対し、水源地域に興味を持ってもらう（サポーター）ための取組みを推進しているが、都市地域住民で「担い手」となる人々の掘り起こしは進んでいない。

取組ごとの成果

取組5 「地域資源」を生かしたイベント等への支援

概要

水源地域の「魅力」の1つである**イベント等**を**広報**の面から支援

イベントの広報支援

水源地域に関係するイベントについて、SNSによる広報支援を実施



「神奈川やまなみ五湖navi」の運営

水源地域の魅力をより多くの人に発信するため、「神奈川やまなみ五湖navi」の管理・運営を実施



実績（R7.1.1現在）

支援したイベント等への参加者数

R3	R4	R5	R6
4,799人	212,375人	580,543人	462,210人

参加者の満足度

R3	R4	R5	R6
96.0%	97.4%	95.4%	94.8%

※ 相互連携して実施する、取組7、取組8において集計した満足度から算出

評価

実績である「参加者の満足度」は高い水準を維持している。

取組ごとの成果

取組 6 エリアごとの「魅力」を生かした事業の支援

概要

水源地域を津久井エリア・宮ヶ瀬エリア・山北エリアに分け、エリアごとの新たな「魅力」を発掘し、事業化を行う。

地域からの提案(自然体験交流事業)に対する支援 (津久井エリア)

水源地域の新たな特産品を目指した山椒栽培及び食品製造体験として、山椒の収穫・製造体験や加工工場見学、定植、試食等、山椒栽培及び食品製造を行うために必要な体験を支援



評価

津久井エリアだけでなく、他エリアへ事業を展開していくための取組みを行う必要がある。

取組ごとの成果

取組 7 交流を通じた共通理解の促進

概要

- ① 水源地域の豊かな**自然**や歴史のある**郷土文化**等に触れ合う**機会の提供**
- ② **都市地域**における**水源地域 P R**を目的とする**イベント**等の実施

1

自然体験交流事業への支援

豊かな自然や生物多様性の大切さを実感し、郷土文化とふれあう場を都市地域住民に提供する体験交流事業への支援



自治体間交流事業への支援

水源地域市町村が企画する地域住民と都市地域住民との体験交流事業への支援



2

水源地域キャンペーンの実施

水源地域をPRするため、都市地域において、水源地域キャンペーンを開催



取組ごとの成果

取組 7 交流を通じた共通理解の促進

実績 (R7.1.1現在)

- 参加者数、参加者の満足度
(自然体験交流事業)

	R3	R4	R5	R6
事業数	6件	11件	15件	17件
参加者数	494人	901人	1,147人	882人
満足度	99.2%	99.6%	97.7%	98.8%

- 参加者数、参加者の満足度
(自治体間交流事業)

	R3	R4	R5	R6
事業数	1件	5件	6件	7件
参加者数	18人	85人	113人	144人
満足度	95.8%	97.6%	99.5%	97.3%

- 参加者数、参加者の満足度
(水源地域キャンペーン)

	R3	R4	R5	R6
参加者数	イベント 開催なし	242人	572人	333人
満足度	イベント 開催なし	88.1%	88.2%	87.8%

評価

様々な交流事業の支援を行っているが、高齢化等により、事業の担い手が少なくなってきたことが課題。

取組ごとの成果

取組 8 教育活動を通じた共通理解の促進

概要

- ① 児童・生徒等の**交流**を通じた「**体験学習**」の場の提供
- ② 児童・生徒等の**自然体験**を通じた水源林の重要性に係る**学習機会**の提供

①

小中学校等交流の実施

水源地域と都市地域の小中学校等が互いの学校やその地域を訪問する体験交流事業の実施を支援



Kanagawa Prefectural Government

②

水源地域を学ぶ体験学習の実施

県内小学校を対象に、山北町での間伐等の森林保全作業やのこぎりひきなどの体験学習を実施



新

水源シールの作成

小学校を対象とした、水道水の水源が視覚的に分かるシールの作成（学校の流し台への貼付を想定）



取組ごとの成果

取組 8 教育活動を通じた共通理解の促進

実績 (R7.1.1現在)

参加者数、参加者の満足度(小中学校等交流)

	R3	R4	R5	R6
学校数	3組 6校	3組 6校	2組 4校	2組 4校
参加者数	359人	210人	198人	197人
満足度	94.1%	95.7%	96.8%	93.1%

参加者数、参加者の満足度(水源地域を学ぶ体験学習)

	R3	R4	R5	R6
学校数	中止	4校	4校	3校
参加者数	中止	244人	268人	157人
満足度	中止	99.3%	98.1%	95.6%

評価

小中学校交流事業、水源地域を学ぶ体験学習共に水源環境への理解に高い効果が期待できるが、事業展開の拡大が課題。

12 かながわの水源地域 (問 33～問 35)

県では、水源地域を取り巻く環境を良好な状態で維持していくため、水源地域における交流を通じて、水源地域の活性化と水源環境の理解促進に取り組んでいます。今回、水源地域で行ってみたいイベントや体験してみたいことについて調査しました。

▼水源地域で行ってみたいイベントや体験してみたいこと (問 34)

水源地域で行ってみたいイベントや体験してみたいことについて複数回答で尋ねたところ、「桜祭りなどの四季折々のイベント」が45.4%で最も多く、次いで「ダムの観光放流などのイベント」が35.5%であった。[図表 12]

図表 12 水源地域で行ってみたいイベントや体験してみたいこと (複数回答) (n=1,185) (%)

